

特定非営利活動法人静岡情報産業協会

令和4年度通常総会次第

日時: 令和4年5月27日(金)15時～17時

会場: 静岡商工会議所会館 403 会議室

およびオンライン

第1部 通常総会

1. 議 事 15:00～15:30

- (1) 開 会
- (2) 理 事 長 挨 拶
- (3) 議 長 選 出
- (4) 議事録署名人選出
- (5) 議 案
第1号議案 令和3年度事業報告及び決算報告承認の件
第2号議案 令和4年度事業計画(案)及び事業予算(案)承認の件
- (7) 閉 会

第2部 記念講演 15:45～17:00

演 題 「企業における女性の活躍」

講 師 静岡県立大学経営情報学部 准教授 国保 祥子(あきこ) 様
博士(経営学), Ph. D. in Business Administration
慶応義塾大学総合政策学部 講師(非常勤)
株式会社ワークシフト研究所 所長
厚生労働省イクメンプロジェクト推進委員(2017年～)
内閣府男女共同参画推進連携会議議員(2019年～)
静岡県男女共同参画会議委員(2021年～)

第1部 通常総会 議 案

第1号議案 令和3年度事業報告及び決算報告

I. 令和3年度事業報告

自: 令和3(2021)年4月1日

至: 令和4(2022)年3月31日

前年度に当協会の創立30周年を迎え、一年かけて理事と各部会で協議を重ね今後3年間を見据えた「SIIA アクションプラン 2021」としてまとめ上げた。その結果を年度冒頭に「宣言」として発表することになった。

その結果本年度の事業は、「SIIA アクションプラン」に沿って各部会の活動を中心に、時に各部会が連携して推進する計画が、本年度も引き続きまん延が治まらない新型コロナウイルス感染症の影響により、予定変更あるいは中止を余儀なくされ、また会場における対面開催事業のすべてがオンライン開催となった一年となった。

(1) 人材育成・教育研修事業(新技術普及促進・教育研修事業・情報化支援事業)

- ① 内閣官房地方創生テレワークにかかる動向、政府施策及び各自治体、地元産業(情報産業)への期待、今後の展望について、をテーマに講演会を開催した。

(参加21名)

講 師: 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局参事官 野村栄悟氏

実施日: 令和3年5月21日

会 場: 静岡商工会議所及びオンライン開催

- ② 静岡大学との共同事業で「オブジェクト指向設計講座」実施

前編として、「デザインパターン入門編」を開講し、設計・プログラミングの実践的なスキルを習得するための静岡大学情報学部オリジナルカリキュラムを技術者向けに提供した。(参加10名)

講 師: 塩見彰睦氏(静岡大学情報学部教授)

講 師: 野口靖浩氏(同准教授)

実施日: 令和3年10月25日～27日(3日間)

会 場: 静岡大学 静岡キャンパス教室

収 入: 370,000円

支 出: 990,000円

- ③ 静岡大学との共同事業で「オブジェクト指向設計講座」実施

「テスト設計とテスト駆動開発入門編」を前編に引き続いて開講した。(参加10名)

講 師: 塩見彰睦氏、野口靖浩氏

実施日: 令和3年11月29日、30日、12月1日(3日間)

会 場: 静岡大学 静岡キャンパス教室

収入/支出: ②項と合算計上

- ④ 会員ニーズセミナー「最新のクラウド動向について～AWSの基本から具体的な活用例まで」実施(参加23名)

講 師: 小木氏、コーディネータ: 松下氏、静岡担当営業: 服部氏(アマゾンウェブサービスジャパン(株)=AWSJ社)

実施日: 令和3年11月4日

会 場: オンライン開催

支 出: AWSJ社より無償提供

⑤ 会員ニーズセミナー「～“契約のデジタル化”への対応を考える～『電子契約』の導入状況と最新の動向について」実施（参加 22 名）
講 師：大泰司 章氏（合同会社 PPAP 総研 代表社員）
実施日：令和 4 年 1 月 24 日
会 場：オンライン開催
支 出：80,000円

⑥ 会員向けハンズオンセミナー「AWS 技術講座入門編 ～座学とハンズオンで AWS の基本を学ぶ～」(参加 10 名)
講 師：アマゾンウェブサービスジャパン(株) ソリューションアーキテクト
実施日：令和 4 年 2 月 3 日
会 場：オンライン開催
支 出：AWSJ 社より無償提供

⑦ 「高校生と企業交流会」実施
次年度に実施を計画している「高校生向け ICT 企業講座」の導入部と位置づけ、島田商業高校情報ビジネス科・情報処理部の生徒と SIIA 会員企業の社員とのオンラインによる交流会を実施し、ICT 業界の現状など高校生の現状認識を新たに作る機会を設ける予定が、度重なる「新型コロナウイルスまん延防止措置」の影響を受け、最終判断により次年度に延期となった。

⑧ 国内視察
新型コロナウイルス感染に伴い、海外から国内へと視察先を変えて考え、検討してきた。その中で、静岡県内でも実施できる「ワーケーション」を体験することを企画し、2～3月の実施で検討を進めてきた。しかし、新型コロナウイルス感染の第6波が起り、実施を見送ることとした。「ワーケーション」については、次年度実施を予定している。

(2) ビジネス・マッチング事業(産業再生・創出事業)

① 会員企業の自社の得意技などの発表機会を活用し、会員企業交流セミナー及び会員交流会を開催する企画は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて開催が延期されたものの、11月に第1回、翌年1月に第2回目の開催を実現した。但し、「会員交流会」については、新型コロナウイルスまん延防止の主旨に基づき実施を断念した。

第1回：(株)建設システム 令和3年11月30日

会 場：静岡商工会議所 401 会議室

発表者：重森 渉氏(代表取締役)、日向亮一氏(経営企画部長)

参加者：35名(会場 24名、オンライン 11名)

第2回：(株)エル・ティー・エス 令和4年1月

会 場：オンライン開催

発表者：漆畑晃司氏(ITSM Outsourcing 部長)、野田翔太氏

参加者：28名

支 出：243,730円(ハイブリッド開催用音響機材)

② 「Kintone Café」開催

昨年度に引き続き、「欲しい時に欲しい機能を自分でつくる、業務効率化アプリ開発ツールサイボウズ Kintone を始めてみませんか」のテーマで、「Kintone」で実際にアプリを制作することを主題とした交流会「Kintone Café」開催を予定したが、度重なる「新型コロナウイルス感染症まん延防止措置」の影響を受けて次年度に延期となった。

支 出：10,890円(Kintone 年間ライセンス料)

- ③ 「会員交流サイト」の構築
ビジネス・マッチングの機会を創出するための「会員交流会」の開催と併せ、会員企業の「イチ押し」情報などを掲載し、会員交流に資する情報提供を目的とした「会員交流サイト」の企画及び実際のウェブサイト基盤の構築を行った。
この事業については次年度も継続し、会員企業からのコンテンツ提供により内容の充実を図ることを計画している。
支 出:286,000円(初年度会員交流サイト基盤部構築費)

(3) 人材育成事業(人材開拓推進事業)

① 「静岡大学夏季インターンシップマッチング会」

実施日:令和3年6月17日

参加者:4名

会 場:オンライン開催

支 出:44,000円

② 「夏季インターンシップ」実施

実施日:令和3年9月8日～9日

参加者:1. 参加企業 6社(株エル・ティー・エス、(株)建設システム、(株)静岡情報処理センター、島田ICTコンソーシアム、(株)東京コンピュータサービス(株)、(株)ユニテック)

2. 参加学生数 6名

会 場:オンライン開催

支 出:124,300円

③ 国内同業種団体への人材開拓事業に関する聞き取り調査(すべてオンラインによる)

1. (一社)宮城県情報サービス産業協会(MISA)

実施日:令和3年4月30日

参加者:MISA 高谷将宏氏(MISA 人財確保 G 副 G 長)

SIIA 渡辺篤部会長、宇賀田栄治理事・副部会長、小林博典副部会長

2. (一社)情報サービス産業協会(JISA)

実施日:令和3年5月

参加者:JISA 増田菜里子氏(採用コミュニティ担当)、手計氏(人材担当)

SIIA 渡辺篤部会長、宇賀田栄治理事・副理事長、小林博典副部会長

3. (一社)神奈川県情報サービス産業協会(KIA)

実施日:令和3年6月3日

参加者:KIA 色川直人氏(事務局)

SIIA 渡辺篤部会長、宇賀田栄治理事・副部会長、小林博典副部会長

④ 文科系大学生向け「ITパスポート取得講座」実施

講 師:静岡産業技術専門学校教師(3名)およびコーディネータ(1名)

実施日:令和4年1月24日～3月14日(計8回開催)

参加者:1.オンライン受講 29名、2.オンデマンド(動画視聴)受講 598名(延べ人数)

支 出:585,000円

⑤ 大学生向け「静岡IT企業研究」講座開催

実施日:令和4年2月18日

参加者:1.参加企業 6社(株エル・ティー・エス、(株)建設システム、(株)静岡情報処理センター、島田ICTコンソーシアム、東京コンピュータサービス(株)、(株)ユニテック

2. 参加学生数 申込み41名中当日参加 29 名
支 出:143, 000円

- ⑥ 「LMS(e ラーニングシステム＝学習管理システム)」調査（次年度「ITパスポート取得講座」等のオンライン学習に備えたクラウド型LMSの調査
実施日:令和4年3月中
支 出: 44, 000円

(4) 事業総括

本年度も、新型コロナウイルスまん延の影響で、年度当初の定時総会は「ハイブリッド開催」に変更し、会場での対面形式に加えてオンラインで併催することにより、初の試みながら総会後の記念講演も含め無事に終わることができた。

人材開拓推進部会では、従来実施していた大学生向けインターンシップ事業や合同企業フォーラムが期待したほどの成果が見られなかった。そこで本年度に入って国内の同業種団体への聞き取り調査を行い、本年度の計画を見直した結果、文科系大学生向け「ITパスポート取得講座」を実施することになった。

本年度初の試みとなった「ITパスポート取得講座」は、予想以上の成果を上げることができた。この結果、次年度以降は社会人向け講座として「ITパスポート取得講座」以外にもカリキュラムの幅を広げて継続事業化する可能性を見出すことができた。

一方、各部会で計画していたセミナー及び講習会も対面形式での開催は困難となり、一部を除きオンラインでの開催に移行あるいは次年度に繰り越しとなった事業もあり、今後に課題を残す結果となった。

(5) 会議交流事業

会議及び事業企画打合せ(企画)開催実績

通常総会、理事会、運営委員会、事業部会を年間事業計画に従って開催した。

総会会議費:220, 000円

理事会等会議費:157, 740円

① 総会

5月21日…通常総会

② 理事会、交流会

4月20日 理事会

5月18日 //

6月29日 //

7月28日 //

9月29日 //

10月27日 //

11月30日 //

12月21日 //

1月25日 //

2月22日 //

3月22日 拡大理事会

③ 運営委員及び事業部会

4月20日 事業部会・運営委員会

5月18日 事業部会・運営委員会

6月29日 //
7月28日 //
8月24日 //
9月29日 //
10月27日 //
11月30日 //
12月21日 //
〈令和4年〉
1月25日 //
2月22日 //
3月22日 拡大理事(運営委員)会

(6) 地域連携事業

- ① JISA(情報サービス産業協会)の会員として活動し、地域高度化事業助成に静岡大学との共同事業で「オブジェクト指向設計講座」の「デザインパターン入門編」及び「テスト設計とテスト駆動開発入門編」で応募して採択された。

収入:300,000円(補助金)

支出:250,000円(JISA年会費)

- ② 他組織の企画を協会員に対して情報提供や事業協力を努めた。

・SIIA ウェブサイトから随時催行情報などを会員ならびに地域などに向けて発信し、SIIAの周知を図った。

・県および市ならびに静岡商工会議所の関連事業(地域企業デジタル化推進特別委員会=久保田理事長が理事就任、情報文化部会)に参加・協力した。

・国、県、市など行政に関する情報をSIIA会員に適時メール配信した。

・情報サービス産業協会(JISA)はじめ県内外の情報関連団体の情報受発信に務め、必要な情報を適時SIIA会員にメール配信した。

・県、市に関わる諸団体事業への協力(しずおか男女共同参画推進会議、ふじのくに i-Construction 推進支援協議会、IT 推進コンソーシアム、しずおか DX コンソーシアム、富士山静岡空港利用促進協議会、静岡市公衆無線 LAN 事業協議会等)

・大学生向け就職情報サイトをSIIAホームページ上にリンクを張り、情報会員企業情報の提供を行った。

支出:12,500円(静岡商工会議所年会費)

(7) 広報事業

- ① HPプロバイダー料:66,000円

- ② HP運用管理・コンテンツ保守:605,000円

■会員数:令和4(2022)年3月末現在

66 会員

<会員種別内訳>

ICT 会員: 31

一般 会員: 20

個人 会員: 1

会費免除会員:14

Ⅱ. 令和3年度決算報告

令和3年度決算報告書

期間:自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

特定非営利活動法人静岡情報産業協会
静岡市葵区羽鳥7丁目6番37号

令和3年度収支決算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人静岡情報産業協会

(単位:円)

<収入の部>

勘定科目	決算額	予算額	比較 増減	備考
会費収入	2,890,000	2,970,000	△ 80,000	ICT会員×31+ 一般会員×20+ 個人会員×1(他、無償会員14)
補助金収入	3,913,257	4,050,000	△ 136,743	静岡市
事業収入	670,000	3,094,770	△ 2,424,770	
1.教育研修事業	370,000	2,100,000	△ 1,730,000	講座受講料
2.ビジネスマッチング	0	100,000	△ 100,000	
3.人材開拓推進	0	200,000	△ 200,000	
4.地域(連携)事業	300,000	300,000	0	JISA交付金
5.その他事業収入		394,770		
	7,473,257	10,114,770	△ 2,641,513	
雑収入	52	0	52	
1.預金利息	52	0	52	預金利息
合計	7,473,309	10,114,770	△ 2,641,461	

<支出の部>

(単位:円)

勘定科目	決算額	予算額	比較 増減	備考
事業費	3,862,160	6,810,000	△ 2,947,840	
1.教育研修・人材育成	1,070,000	3,280,000	△ 2,210,000	講座実施費、講師謝金等
2.ビジネスマッチング	540,620	700,000	△ 159,380	会員交流会開催用機材,会員交流サイト構築,Kintoneアカウント等
3.人材開拓推進	940,300	1,330,000	△ 389,700	Web講習会委託費等
4.会議交流	377,740	450,000	△ 72,260	会場費等(総会、理事会、運営委員会、事業部会)
5.地域連携	262,500	400,000	△ 137,500	JISA、静岡商工会議所年会費
6.広報	671,000	650,000	21,000	協会情報内外発信費、HP管理費等
管理費	3,336,379	3,304,770	31,609	
1.人件費	0	0	0	給与・法定福利費
2.事務委託費	2,640,000	2,640,000	0	事務局業務
3.旅費交通費	5,900	30,000	△ 24,100	出張費、交通費、駐車料等
4.通信費	192,580	190,000	2,580	FAX代、電話代、郵送費
5.交際費	0	50,000	△ 50,000	香典・見舞金、会合費等
6.印刷費	0	50,000	△ 50,000	資料印刷費、理事用名刺等
7.賃借料	0	0	0	事務局オフィス賃借料
8.水道光熱費	0	0	0	事務局電気料等
9.消耗品費	0	20,000	△ 20,000	事務用消耗品
10.租税公課	0	6	△ 6	
11.事務用品費	274,569	100,000	174,569	Webex、Zoomアカウント4本、SSD交換(事務局PC)他
12.広告宣伝費	31,240	30,000	1,240	
13.諸会費	20,000	12,500	7,500	するが企画観光局会費
14.手数料	172,090	150,000	22,090	税理士及び登記費用、振込手数料等
15.予備費	0	32,264	△ 32,264	
繰越金へ	274,770		274,770	
合計	7,473,309	10,114,770	△ 2,641,461	

令和3年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

2022年3月31日現在

特定非営利活動法人静岡情報産業協会

(単位:円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
I. 資産の部		II. 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金	42,928	未払金	0
普通預金	2,962,363	預かり金	0
仮払金	10,210	流動負債合計	0
未収金	3,998,047 (静岡市補助金)	2. 固定負債	
			0
		固定負債合計	0
		負債合計	
			0
		III. 正味財産の部	
		1. 正味財産	
		前期繰越	
		正味財産	7,088,532
		当期正味財産	
		増加額	0
		正味財産合計	7,088,532
流動資産合計	7,013,548	負債及び正味財産合計	7,088,532
2. 固定資産			
電話加入権	74,984		
固定資産合計	74,984		
資産合計	7,088,532		

財産目録

2021年3月31日現在


(単位:円)

摘要	金額
<資産の部>	
流動資産	
現金	42,928
普通預金 静岡銀行呉服町支店	2,962,363
仮払金	10,210
未収金 (静岡市補助金: 4,050,000)	3,998,047
流動資産合計	7,013,548
固定資産	
電話加入権 INS64設置	74,984
固定資産合計	74,984
資産の部合計	7,088,532
<負債の部>	
流動負債	
未払金	0
預かり金	0
負債の部合計	0
差引正味財産	7,088,532

監査報告書

令和3年度特定非営利活動法人静岡情報産業協会の収支決算書、貸借対照表及び財産目録を監査した結果、正確妥当であることを認めます。

令和4年4月25日

監事 上田 和博 

監事 吉兼 正哲 

第2号議案 令和4年度事業計画(案)及び事業予算(案)

I. 令和4年度事業計画(案)

自: 令和4(2022)年4月1日

至: 令和5(2023)年3月31日

1. 事業計画の概要

「SIIA アクションプラン 2021」の実施2年目となる本年度は、その実行から検証のステージに向かうことになる。そこで、アクションプラン宣言の三項目により各部会の方針を示す。

(1) 人材育成教育研修部会

「市場や技術の動向を踏まえ、会員のために役立つ情報と学習機会を提供し続けます。」

デジタル技術による社会変革の時代にあつて、新たな技術や今後のICT業界の方向性を示唆するセミナー、研修会を開催し、会員にとって有用な最新情報の提供や技術者の技術力向上に役立てる。

また本年度も従来同様、(一社)情報サービス産業協会(JISA)の地域連携事業に応募して補助金を得ることで、地域ビジネス活性化に資する活動を活発化する。

このことに加えて、昨年度から人材開拓推進部会で実施している「大学生向けICT人材の底上げプログラム」にならつて、「地域のICT人材の向上」のために「社会人向けリカレント教育」として「ITパスポート取得講座」等のICT基礎知識教育も展開する。

さらに、長年にわたり実施していた海外視察研修事業については、コロナ禍の影響により昨年度には国内に視野を転じた。本年度はその方針を受け継ぎ、「ワーケーション」など時代の先端を行く事例なども検討の対象にする。

(2) ビジネス・マッチング部会

「会員相互及び産・学・官との交流を活性化し、ビジネスの機会創出をめざします。」

昨年度ようやく開催の実現を見た、会員企業の「わが社の一押し」をテーマにした「会員交流会」を本年度も引き続き開催する。

また、各社の特長や特性を訴求することを目的に、SIIAのウェブサイト上に各社の「動画を多用したコンテンツ」を公開する。これはウェブサイト公開後の交流会を通じて会員同士の知り合う機会を深め、そこから新たなビジネスチャンスが創出することを狙いとする。

さらに、これまで「小規模事業者向け業務アプリ作成」に関する研究会「Kintone Café」を継続的に開催してきたが、今年度は協会会員が保有する技術やノウハウを提供し、小規模事業者が抱える課題解決策を提案できるような体制づくりを強化していく。

(3) 人材開拓推進部会

「産・学・官の連携を深め、学生へICTの魅力を訴求し、次の担い手の発掘をめざします。」

ICT業界の慢性的な人材不足の問題に対し、その解決のための事業を中心に毎年活動してきたが、本年度も同様のテーマにより地元のICT企業の人材確保をテーマに活動する。

これまで積み上げてきたインターンシップ事業の評価と反省に基づいて、昨年度試験的に実施した、文系大学生を対象にした「ITパスポート取得講座」を継続的に開催する。

これにより地域のICT人材の底上げを図るとともに、一昨年度他県の同業者団体との交流によりヒントを得た、会員企業の技術者あるいは経営者などを講師とした「ICT技術者講座」の継続的開催を人材育成部会とも連携し、ICT人材の開拓並びに育成を目指す。

(4) 調査研究・交流促進事業

「会員交流会」以外の総会後の会員交流会および理事交流会を開催し、会員に資する各種情報の収集及び提供を行う。併せて総会、運営委員会、事業部会の開催を管理する。

(5)地域連携事業

例年通りの地域連携事業への参加・協力に加え、静岡市(デジタル化推進課)との協働事業として、「スマートシティー」の研究等、SIIA 会員の参加による活動を目指す。

2. 事業の骨子

以上を踏まえ、当協会今期事業を次のように計画する。

(1)人材育成・教育研修部会の事業

- ① 通常総会開催時に講師を招き講演会を開催する。
 - ・実施時期: 令和4年5月
 - ・開催場所: 静岡商工会議所 4 階会議室
 - ・経費予算: 20 万円

- ② 国内での体験や企業視察を実施して ICT 業界の最先端情報を収集する。
 - ・実施時期: 令和4年6月～令和5年2月
 - ・開催場所: 未定
 - ・実施内容: ワークーションを体験し、新たな働き方を知り考える機会を作る
 - ・収入予算: 25 万円
 - ・経費予算: 35 万円

- ③ 地域の ICT 人材向上のための社会人 ICT 基礎知識講座を実施する。
 - ・実施時期: 令和4年 8 月～令和 5 年 2 月
 - ・予定人数: 20 人
 - ・開催場所: オンライン
 - ・収入予算: 40 万円
 - ・経費予算: 45 万円

- ④ 地域 ICT 企業の地力向上のための技術研修事業を、静岡大学の協力を受けて実施する。
 - ・実施時期: 令和4年8月～9月
 - ・予定人数: 20 人
 - ・開催場所: 静岡大学
 - ・収入予算: 60 万円
 - ・経費予算: 110 万円

- ⑤ これからの IT 技術者に必要なスキルをピックアップし、ICT 最新技術のビジネス講座を実施する。
 - ・実施時期: 令和4年10月～令和5年2月
 - ・開催場所: (会場未定)
 - ・収入予算: 40 万円
 - ・経費予算: 50 万円

- ⑥ 会員からのニーズに応じたセミナーを実施する。
 - ・実施時期: 令和4年10月～令和5年2月
 - ・開催場所: オンラインまたは集合方式で検討
 - ・経費予算: 10 万円

- ⑦ 高校生向けに ICT 講座を開催する。
 - ・開催時期: 令和4年5月～6月
 - ・開催場所: 未定

・経費予算:10 万円

(2)ビジネス・マッチング部会の事業

- ① 会員企業の自社の得意技などの発表機会を活用し、会員企業交流セミナー及び会員交流会を開催
 - ・開催時期:令和4年4月～令和5年2月(5回開催)
 - ・開催場所:静岡商工会議所会議室
 - ・収入予算:10 万円
 - ・経費予算:15 万円

- ② 会員企業紹介コンテンツの制作およびウェブサイト上への公開
 - ・SIIA としてのウェブサイト公開用のコンテンツ規格(テンプレート)の作成
 - ・各社から提供されたコンテンツを SIIA ウェブサイトの特設サイトに公開
 - ・会員企業紹介コンテンツを活用した会員交流会などを開催
 - ・開催期間:令和4年7月～令和5年2月
 - ・経費予算:20 万円

- ③ 「Kintone Café」を開催し、外部講師も活用しながら、小規模事業者向けアプリ開発学習会を開催する。
 - ・実施時期:令和4年7月～令和5年2月
 - ・経費予算:10 万円

- ④ 小規模事業者向け DX・業務改善に関するお困りごと相談会
 - ・地域の ICT 化に寄与するため、ICT に関する専任者がいない小規模事業者が抱える課題に対して、課題をヒアリングして具体的な解決策を提案できるような個別相談会を開催
 - ・実施時期:令和4年7月～令和5年2月(月1回程度)
 - ・経費予算:12 万円

(3)人材開拓推進部会の事業

- ① ICT 講座
 1. 「IT パスポート取得講座」
 - ・主に文系の大学生等に向け、ICT の可能性を感じてもらい資格所得を支援
 - ・参加人数:50 名
 - ・経費予算 55 万円

 2. 基本情報技術者試験講座
 - ・理系の大学生、IT 系会員企業の社員向けの資格所得を支援する講座
 - ・理系の大学生に協会、協会企業を認知してもらう。
 - ・参加人数:50 名 内、ICT 企業の社員 25 名(参加費、1 人/1 万円)
 - ・収入予算 25 万円
 - ・経費予算 65 万円

- ② 静岡 IT 研究会
 - ・IT パスポート講座等を受けた方や理系、情報系以外の学生向けに IT 業界の魅力、将来性を感じてもらい、会員企業との交流を促す。
 - ・参加人数:30 名
 - ・経費予算 15 万円

- ③ IT 系会員企業の採用担当者と県外の IT サービス産業協会等との意見交換会

- ・会員企業の採用担当者と、県外の IT サービス産業協会等との交流を図る事により採用担当者への知見を広げてもらい、協会の参加のメリットを感じてもらう。
- ・参加企業:10 社(20 名)
- ・経費予算 10 万円

(4)調査研究・交流促進の事業

- ① 総会時会員交流会を実施する。
 - ・開催時期:令和 4 年 5 月 27 日(総会・講演終了後)
 - ・開催場所:静岡商工会議所
 - ・参加人数:50 人
 - ・経費予算:5 万円
- ② 理事交流会を実施する
 - ・収入予算:12 万円
 - ・経費予算:12 万円
- ③ 総会・理事会・運営委員会・事業部会等の会議開催費
 - ・経費予算:23 万円
- ④ 必要な情報収集には WG メンバーを他地域視察に積極的に派遣し、助言・提言の情報量を増す。

(5)地域連携事業

- ① 地域の団体・機関の実施する事業等に協力する。
 - i. 協会員への情報提供のため(一社)情報サービス産業協会(JISA)の入会継続
 - ・経費予算:25 万円
 - ii. JISA「地域連携事業」プログラムに参加する。
 - ・収入予算:30 万円
 - iii. 静岡商工会議所「情報文化部会」に参加協力する。
 - iv. 静岡市が推進する「デジタル化推進構想」事業に参加協力する。
 - v. 「静岡市の公衆無線 LAN 事業」の作業部会、及び事業協議会に参加する形で協力・助言を継続する。
- ② 西部／東部ベンダー企業組織と活動を連携する。

(6)広報事業

- ① 会員に対する情報提供(Web 広報、パンフレット等作製、HP・サーバー管理等)
 - ・経費予算:63 万円

令和4(2022)年度事業予算案

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人静岡情報産業協会

(単位:円)

<収入の部>

勘定科目	令和4年度予算	令和3年度決算	令和3年度予算	備考
会費収入	2,790,000	2,890,000	2,970,000	ICT×30、一般×19、個人×1 (他会費免除会員×14)
補助金収入	4,050,000	3,913,257	4,050,000	静岡市
事業収入	2,420,000	670,000	3,094,770	
1.教育研修事業	1,650,000	370,000	2,100,000	視察参加費、セミナー/ビジネス講座等講師費・講習料
2.ビジネスマッチング	100,000	0	100,000	交流会参加料
3.人材開拓推進	250,000	0	200,000	
4.地域連携事業	300,000	300,000	300,000	JISA 交付金
5.その他事業収入	120,000	0	394,770	懇親会
	9,260,000	7,473,257	10,114,770	
雑収入	274,770	0	0	
1.預金利息	0	52	0	預金利息 他
繰越金より	274,770	52		
合計	9,534,770	7,473,309	10,114,770	

<支出の部>

(単位:円)

勘定科目	令和4年度予算	令和3年度決算	令和3年度予算	備考
事業費	6,100,000	3,862,160	6,810,000	
1.教育研修	2,800,000	1,070,000	3,280,000	技術研修、企業視察、セミナー 講演等の経費
2.ビジネスマッチング	570,000	540,620	700,000	会員交流会、アプリ開発学習会
3.人材開拓推進	1,450,000	940,300	1,330,000	Webセミナー、インターンシップ等の企画実施経費
4.会議交流	400,000	377,740	450,000	総会、理事会、運営委員会、部会等の開催経費
5.地域連携	250,000	262,500	400,000	JISA会費等
6.広報	630,000	671,000	650,000	協会情報内外発信費、プロバイダー費、HPメンテ費等
管理費	3,434,770	3,336,379	3,304,770	
1.人件費	0	0	0	
2.事務委託費	2,640,000	2,640,000	2,640,000	220,000×12ヵ月
3.旅費交通費	10,000	5,900	30,000	出張費等
4.通信費	200,000	192,580	190,000	電話代、郵送費 等
5.交際費	10,000	0	50,000	会合費等
6.印刷費	10,000	0	50,000	名刺、協会パンフ 等の印刷代
7.賃借料	180,000	0	0	クラウドストレージ利用料
8.水道光熱費	0	0	0	事務局光熱費
9.消耗品費	0	0	20,000	事務用消耗品費(コピー用紙、プリンターインク 等)
10.租税公課	0	0	6	
11.事務用品費	140,000	274,569	100,000	事務局オフィス用具
12.広告宣伝費	40,000	31,240	30,000	商工会議所名刺広告費
13.諸会費	20,000	20,000	12,500	静岡商工会議所会費
14.手数料	155,000	172,090	150,000	会計士費用、司法書士費用、振込手数料 他
15.予備費	29,770	0	32,264	
繰越金へ	0	274,770		
合計	9,534,770	7,473,309	10,114,770	